

2015年3月期 第2四半期 決算説明会

ブラザー工業株式会社

2014年11月4日

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確実要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

第2四半期累計実績のポイント

売上高

■ 3,247億円 (+12.6%)

IT顧客向けの産業機器の需要拡大が売上を牽引

営業利益

■ 300億円 (+54.7%)

円安効果に加え、産業機器が大幅な増益に

経常利益

■ 276億円 (+80.4%)

為替予約関連の損失が一巡

税前利益

■ 437億円 (+190.8%)

不動産売却益の計上により、大幅増益

当期純利益

■ 371億円 (+476.9%)

税前利益増、税効果会計の影響もあり、大幅増益

第2四半期累計実績のポイント

() は為替影響を除く増減率

P&S

■ 売上高 2,178億円/+7.5% (+3.0%)

欧州・アジアが堅調も、日本は需要低迷

P&H

■ 売上高 218億円/+16.4% (+11.9%)

新製品投入により、米州の好調が続く

M&S

■ 売上高 469億円/+56.0% (+52.8%)

産業機器がIT関連顧客向け中心に好調

N&C

■ 売上高 225億円/+1.2%

カラオケ店舗事業堅調も、機器販売弱く、前年並みに留まる

工業用部品

■ 売上高 86億円/+12.8% (+12.0%)

国内需要堅調。北米向けも拡大

2015年3月期見通しの主な修正点

売上高

■ 7,000億円 (+200億円)

円安効果および産業機器の見通しを引き上げ

営業利益

■ 530億円 (+30億円)

主に産業機器の引き上げを織り込み

当期純利益

■ 510億円 (+20億円)

税前利益増により、引き上げ

為替前提

USドル 1ドル=100円 → 105円

ユーロ 1ユーロ=138円 → 138円 (変更なし)

- モノクロレーザー、カラーレーザーの新モデルを投入
- 新興国向けIJPを発売し、売上拡大を目指す

● モノクロLBP



HL-L2365DW



HL-L2360DN



HL-L2320D

● カラーLBP



HL-L8350CDW



MFC-L8650CDW

● インクジェット複合機

- 1 従来比約2倍の大容量の黒インクカートリッジを搭載
- 2 コンパクトな本体サイズ
- 3 使用済みカートリッジを減らす、エコモデル



MFC-J100
InkBenefit



黒インクに大容量カートリッジ
を採用

- ✓ 高付加価値モデル新製品投入による、売上の拡大
- ✓ カuttingマシンによる、ホビー領域での成長

<高付加価値モデル投入>

圧倒的な高機能モデルを投入し、ハイエンド市場での存在感を更に高める



THE Dream Machine™
Innov-is XV8500D

- ✓ 10.1インチの高精細液晶ディスプレイ搭載
- ✓ イメージスキャン機能により、イラストを刺しゅうデータに簡単に変換
- ✓ 24x36cmの広い刺繍縫製範囲

<ホビー領域での成長>

スキャナ搭載のカuttingマシン投入により、クラフト領域での成長の足掛かりを築く



- ✓ IT関連の需要拡大に備え、生産能力を拡大
- ✓ 新製品投入により、2輪・自動車関連顧客への売上の拡大を目指す

<生産能力の拡大>



M&S 刈谷工場

- 1 12月を目途に、刈谷工場における生産能力を拡大
- 2 IT関連産業の更なる需要拡大に備える

<製品ラインアップの拡大>



コンパクトマシニングセンター
SPEEDIO S1000X1

- 1 ストロークの拡大により、大物加工を実現
- 2 独自の技術により、高い生産性を実現

計画達成に向けた主要課題

- ◆ 〈P&S〉SMB/コーポレートビジネスの推進および新興国市場におけるLBPのシェア拡大
- ◆ 〈P&H〉ミシン市場での圧倒的なトップシェアの獲得とクラフトビジネスの拡大
- ◆ 〈工業用ミシン〉中国市場の巻き返しとアジア地域での顧客拡大
- ◆ 〈産業機器〉安定的な受注の確保と、生産キャパシティの確保
- ◆ 〈N&C〉カラオケ稼働台数の増加と、直営店舗事業の拡大
- ◆ 〈工業用部品〉北米・アジアを始めとした海外市場での売上拡大

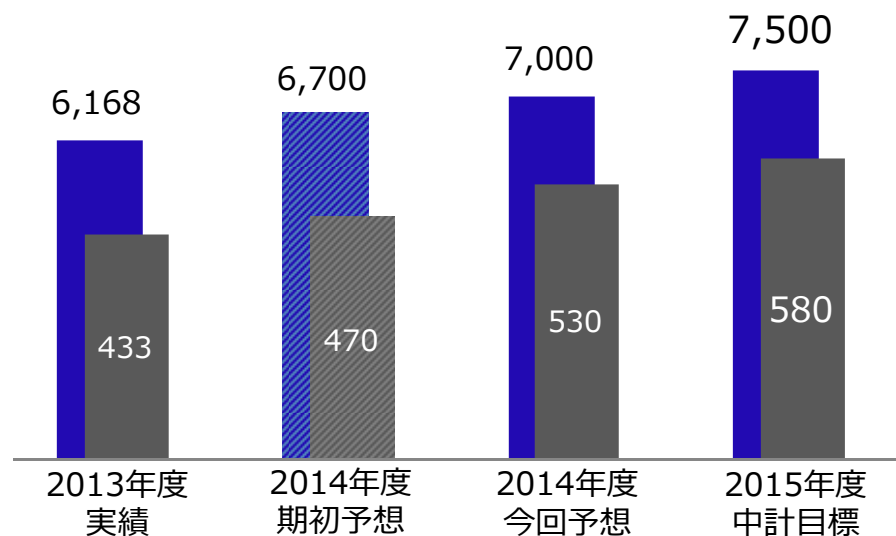
2015年度 業績目標

売上高 7,500億円

営業利益 580億円

営業利益率 7.7%

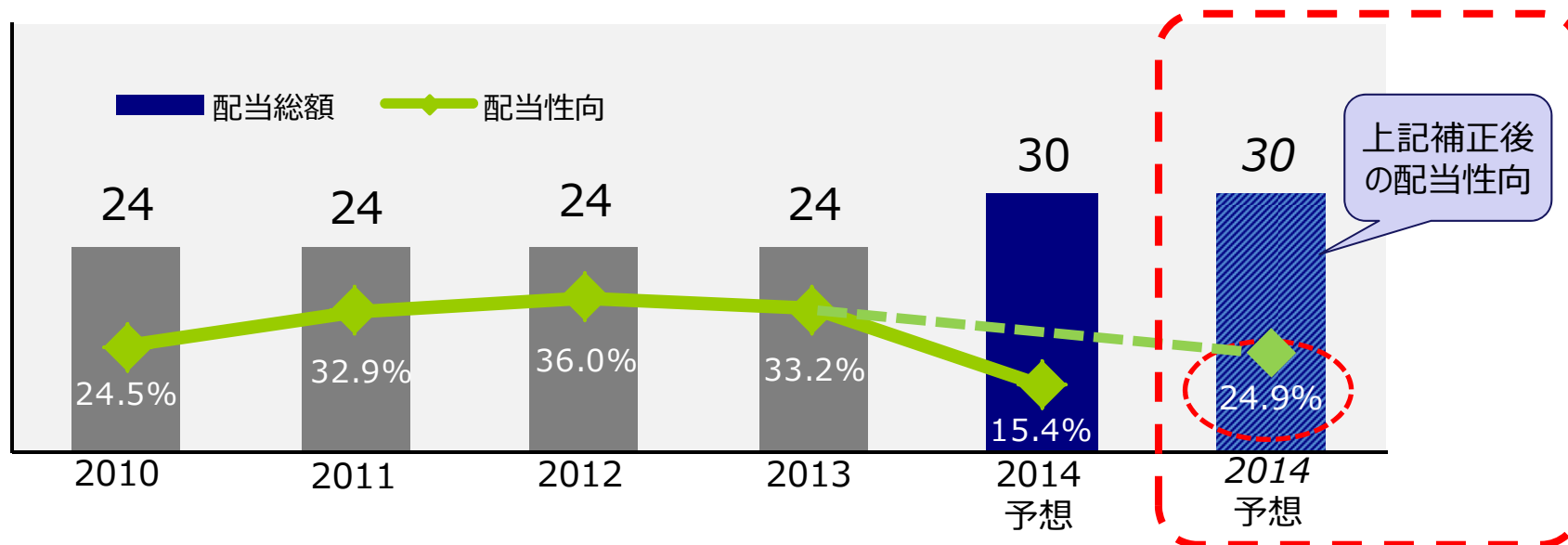
＜目標達成に向けて、着実に成長＞



- ✓ 連結配当性向30%程度とする基本方針に変更なし
- ✓ 下期も安定的な株主還元を実施

<14年度配当予想の算出について>

- ①固定資産売却益（約163億円）を除外し、税前利益を算出
- ②08~12年度の平均税率（約33%）を用い、14年度の当期純利益を算出
→一過性要因を補正した予想値を基準に、配当金額を決定



2015年3月期第2四半期累計期間の実績と
2015年3月期の見通し

2015年3月期 第2四半期決算実績



単位：億円

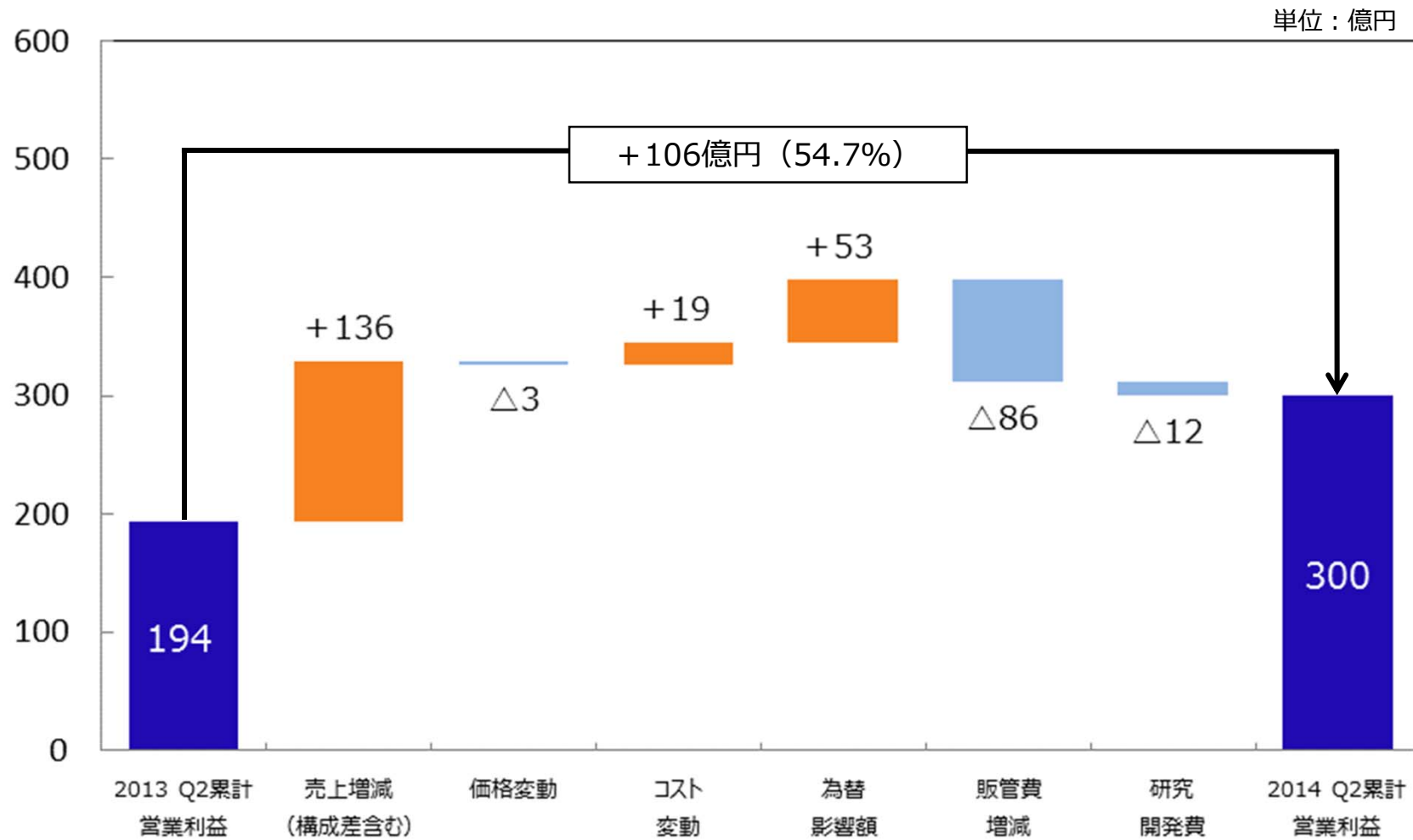
	第2四半期 6ヶ月累計			
	2015/3 2Q(累計実績)	2014/3 2Q(累計実績)	増減額	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率
売上高	3,247	2,884	363	12.6% (8.7%)
営業利益	300	194	106	54.7%
営業利益率	9.2%	6.7%	2.5%	
営業外損益	△ 23	△ 40	17	
経常利益	276	153	123	80.4%
特別損益	160	△ 3	163	
法人税他	66	86	△ 20	
四半期純利益	371	64	307	476.9%

単位：円

換算レート	USD	103.51	97.99	5.52
	EUR	139.07	128.79	10.28

- ✓ 売上高は、円安効果もあり、すべての事業で増収。特に、IT関連向けが好調だった産業機器は大幅増収
- ✓ 営業利益は、増収効果に加え、為替の円安効果も加わり、増益となる
- ✓ 四半期純利益は、固定資産売却益や税効果会計の影響などもあり、大幅な増益となる

営業利益増減要因 <2015年3月期 第2四半期累計実績>

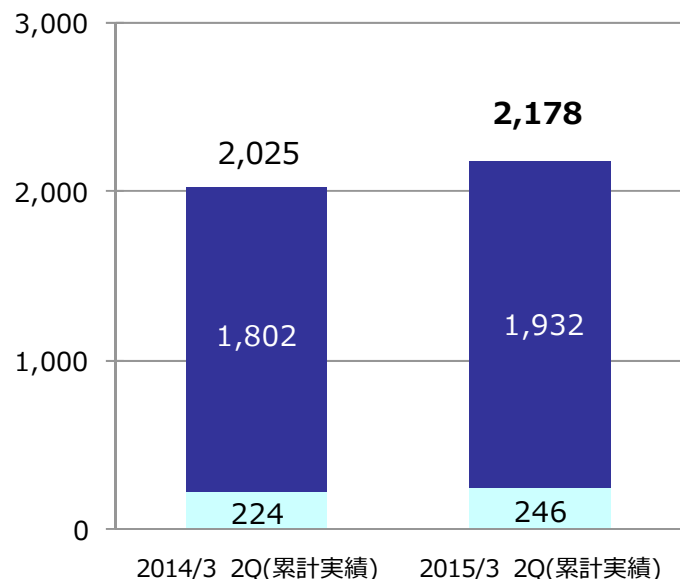


プリンティング & ソリューションズ 事業

売上高・営業利益 <2015年3月期 第2四半期累計実績>



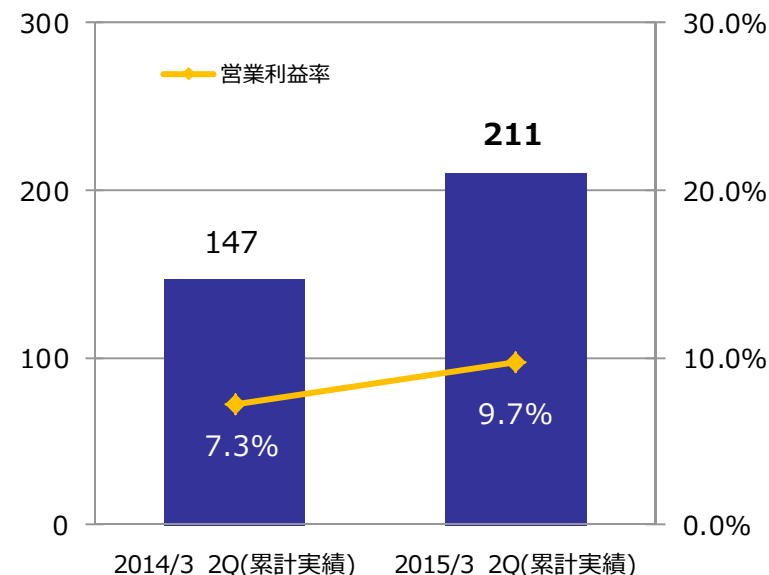
売上高 (億円)



増減率 (為替影響除く)

通信・プリンティング機器	+7.2% (+2.7%)
電子文具	+10.1% (+5.1%)
合計	+7.5% (+3.0%)

営業利益 (億円)



通信・プリンティング機器 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 2Q実績	2015/3 2Q実績	増減率(為替影響除く)
米州	738	764	+3.6% (+0.4%)
欧州	569	646	+13.4% (+4.8%)
アジア他	293	339	+15.6% (+12.3%)
日本	201	183	△8.9% (△8.9%)

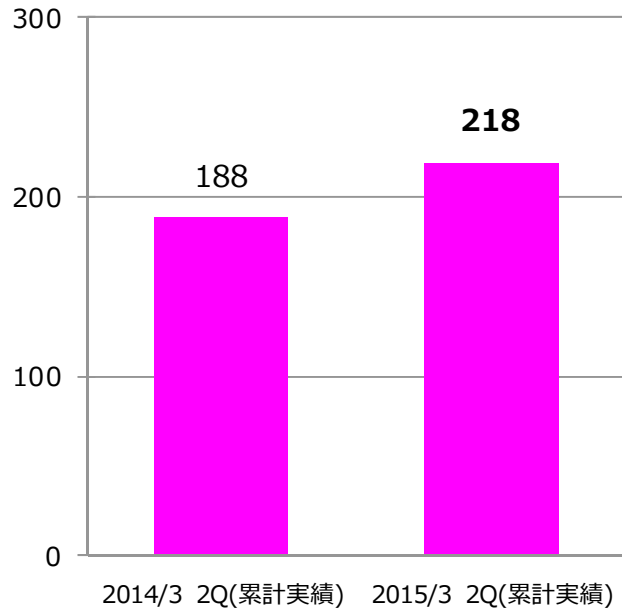
電子文具 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 2Q実績	2015/3 2Q実績	増減率(為替影響除く)
米州	107	119	+10.8% (+6.7%)
欧州	65	74	+14.3% (+5.6%)
アジア他	31	38	+22.4% (+18.8%)
日本	21	16	△24.9% (△24.9%)

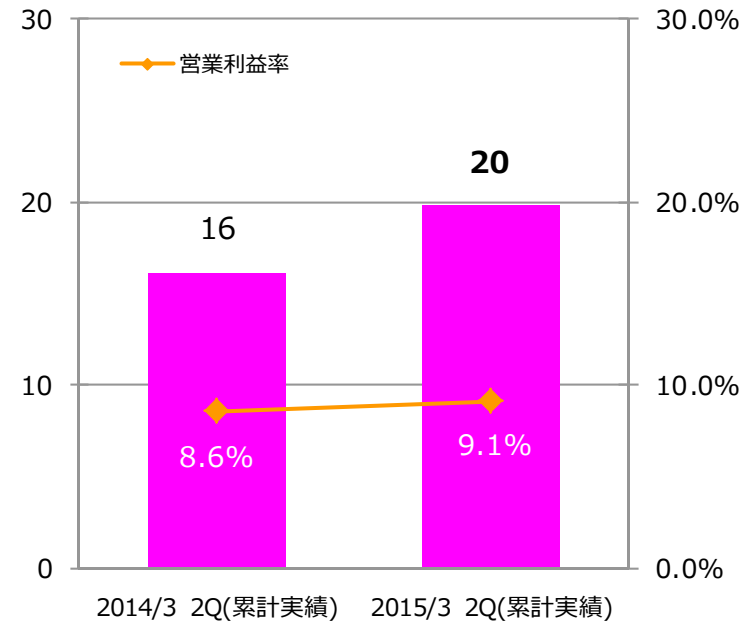
- 売上高は、欧州・アジアが堅調に推移。米州・日本は製品出荷の遅れなどにより、製品本体の売上は前年割れとなる
- 営業利益は、販売管理費の増加が圧迫要因となったものの、増収効果および為替のプラス影響により、増益となる

※当期における連結範囲の変更に合わせて、前期まで「日本」で表示していた数値の一部を、「アジア他」へ組み替えて表示しております。

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



増減率 (為替影響除く)

家庭用ミシン
+16.4% (+11.9%)

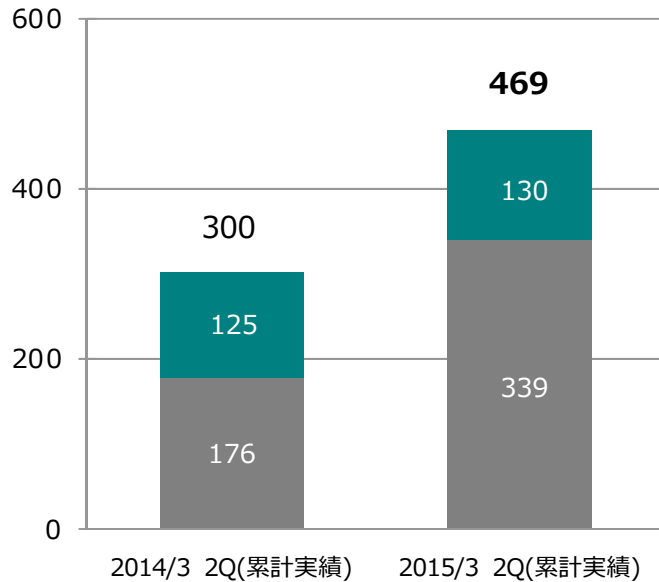
家庭用ミシン 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 2Q実績	2015/3 2Q実績	増減率(為替影響除く)
米州	99	123	+24.3% (+19.9%)
欧州	46	48	+4.0% (△3.3%)
アジア他	22	28	+26.4% (+23.1%)
日本	21	20	△3.9% (△3.9%)

- 売上高は、米州の売上が堅調に推移し、増収となる
- 営業利益は、販売管理費等の費用増加の影響を吸収し、増益を確保

※当期における連結範囲の変更に合わせて、前期まで「日本」で表示していた数値の一部を、「アジア他」へ組み替えて表示しております。

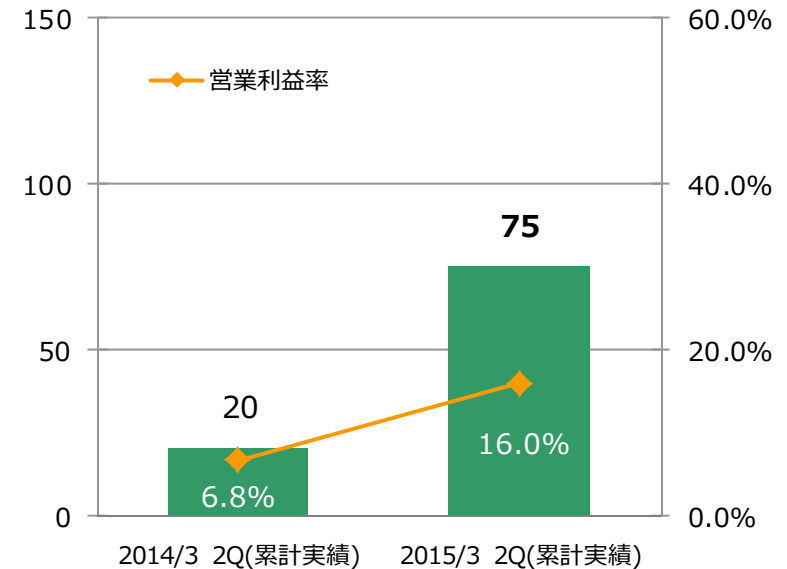
売上高 (億円)



増減率 (為替影響除く)

工業用マシン	+4.3% (△0.6%)
産業機器	+92.8% (+90.6%)
合計	+56.0% (+52.8%)

営業利益 (億円)



工業用マシン 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 2Q実績	2015/3 2Q実績	増減率(為替影響除く)
米州	22	26	+16.9% (+12.2%)
欧州	17	20	+16.5% (+8.4%)
アジア他	82	80	△2.1% (△6.5%)
日本	3	3	+12.4% (+12.4%)

産業機器 地域別売上高内訳 (億円)

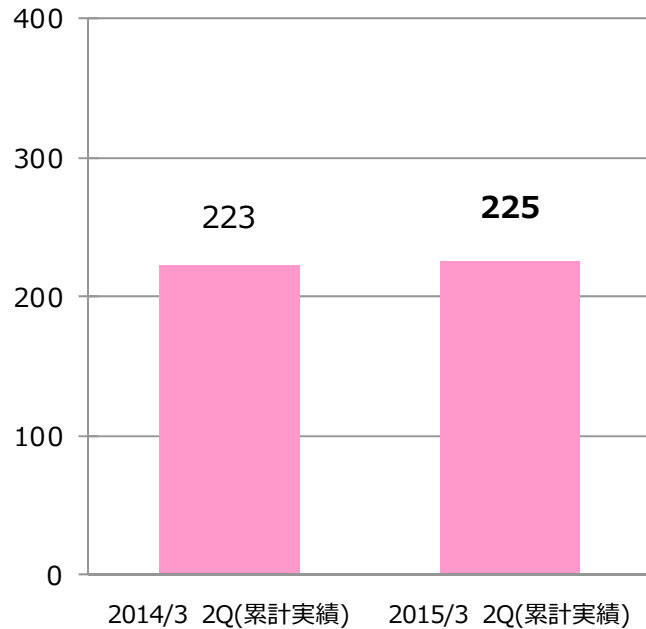
	2014/3 2Q実績	2015/3 2Q実績	増減率
米州	10	14	+36.3%
欧州	6	13	+124.1%
アジア他	142	286	+102.0%
日本	18	26	+41.7%

- ▶ 工業用マシンは、東南アジア及び欧米の縫製産業の設備投資需要の拡大はあるものの、中国の需要低迷の影響が大きく、前年並みに留まる
- ▶ 産業機器は、中国におけるIT関連顧客の需要拡大に伴い、上半期で過去最高の売上を達成
- ▶ 主に産業機器の増収に伴い、大幅な増益となる

※産業機器については、主に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

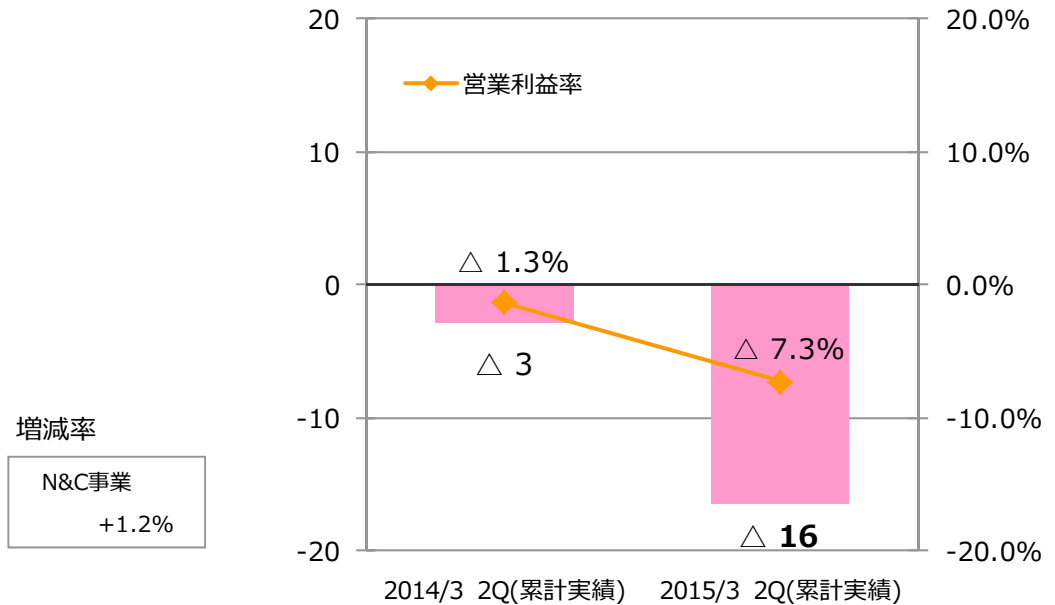
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



- 売上高は、カラオケ店舗の運営事業は堅調なもの、通信カラオケ機器の需要サイクルの影響もあり、前年並みの水準となる
- 営業利益は、機器販売の減小に加え、開発費などの費用の増加の影響もあり、赤字が拡大

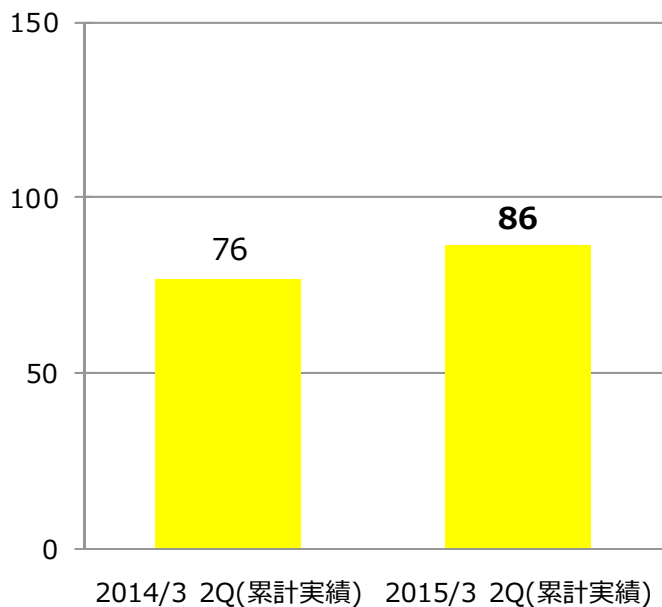
※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

工業用部品事業 売上高・営業利益

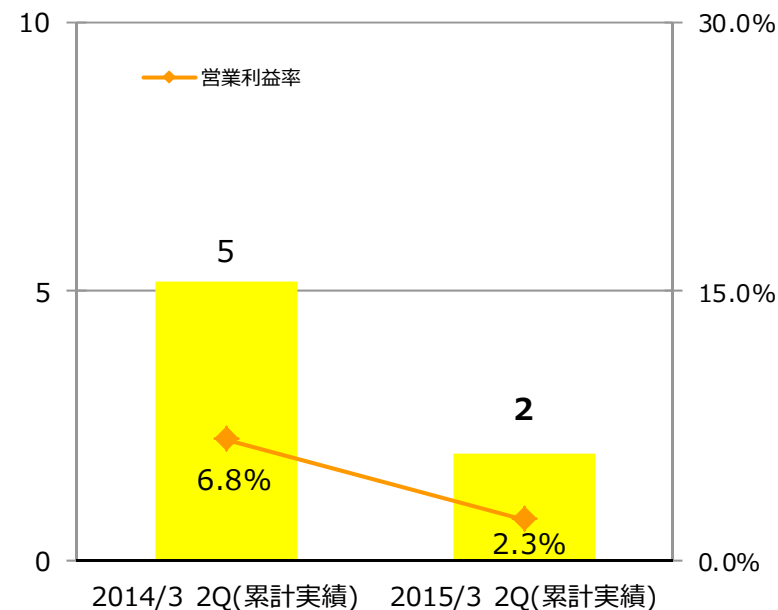
<2015年3月期 第2四半期累計実績>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



対前年増減率

工業用部品
+12.8% (+12.0%)

工業用部品 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 2Q実績	2015/3 2Q実績	増減率(為替影響除く)
米州	10	12	+20.5% (+14.7%)
欧州	0	0	- -
アジア他	0	2	- -
日本	67	72	+8.5% (+8.5%)

- 売上高は、日本での需要が堅調なことに加え、北米での販売強化もあり、順調に拡大
- 償却費などの固定費増により、減益となる

2015年3月期 業績予想

単位：億円

	2015/3 予想 (A)	2014/3 実績 (B)	増減額 (A - B)	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率 (A/B - 1)	2015/3 前回予想 (8/4発表) (C)	増減額 (A - C)
売上高	7,000	6,168	832	13.5% (10.7%)	6,800	200
営業利益	530	433	97	22.4%	500	30
営業利益率	7.6%	7.0%	0.6%		7.4%	0.2%
営業外損益	△ 40	△ 77	37		△ 40	0
経常利益	490	356	134	37.6%	460	30
特別損益	145	△ 21	166		150	△ 5
法人税他	125	143	△ 18		120	5
当期純利益	510	192	318	165.3%	490	20

単位：円

換算レート	USD	104.54	100.00	100.71
	EUR	138.64	134.01	138.54

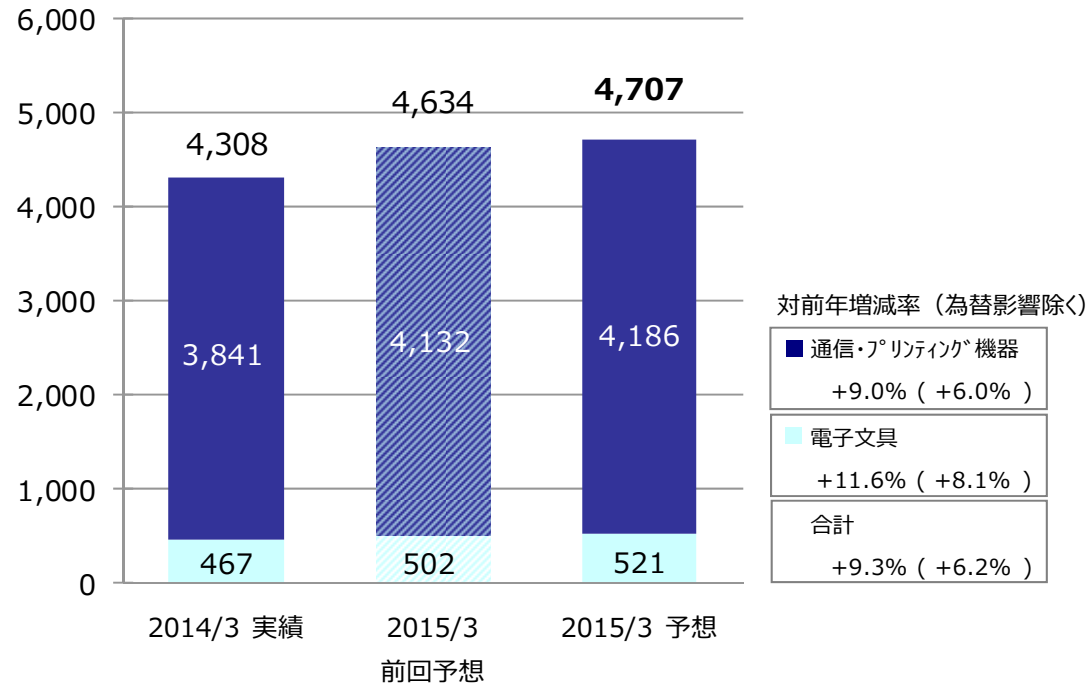
- ✓ USドルの前提レートを1ドル=100円から105円に変更
- ✓ 主にIT関連産業向けの需要拡大に伴い、産業機器の見通しを引き上げ
- ✓ 中国での需要低迷に伴い、工業用ミシンの見通しを引き下げ
- ✓ ネットワーク&コンテンツ事業は新規事業及びコンテンツ事業の見通しを引き下げ。(カラオケ事業は維持)

プリンティング & ソリューションズ 事業

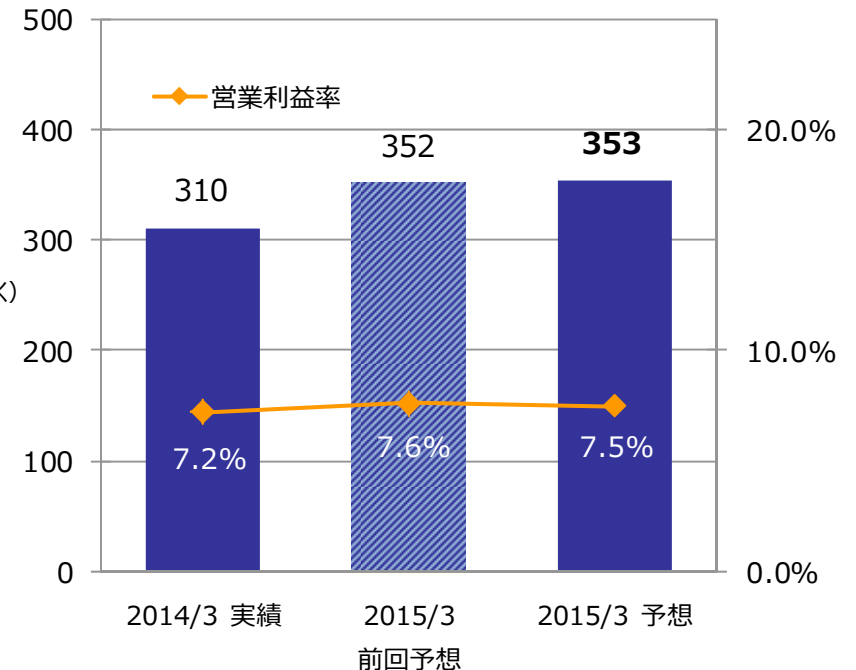
売上高・営業利益 <2015年3月期 通期予想>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



通信・プリンティング機器 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 前回予想	2015/3 予想	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	1,504	1,601	1,654	+10.0% (+6.5%)
欧州	1,327	1,396	1,402	+5.7% (+2.1%)
アジア他	579	691	694	+19.8% (+17.1%)
日本	431	444	436	+1.1% (+1.1%)

電子文具 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 前回予想	2015/3 予想	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	216	229	246	+13.8% (+9.8%)
欧州	147	158	159	+8.1% (+4.2%)
アジア他	62	76	77	+23.8% (+20.6%)
日本	42	39	39	△6.1% (△6.1%)

前回からの変更点

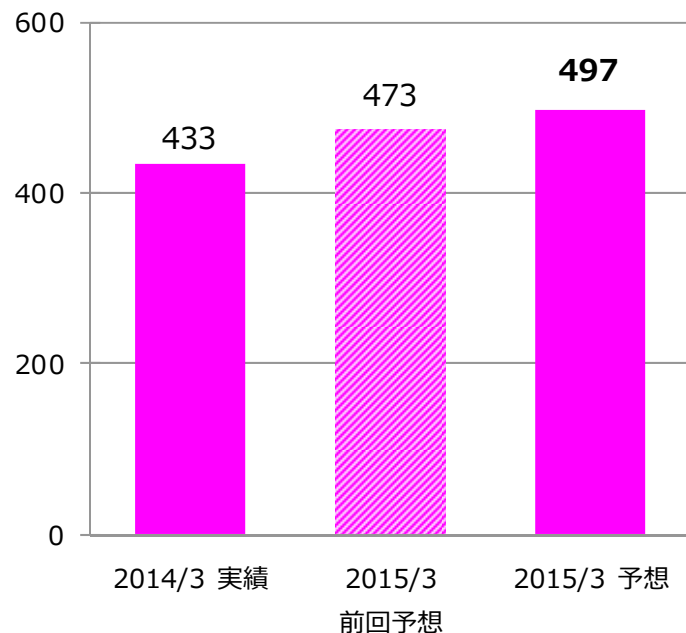
- ▶ ドル円の前提レートを円安に変更した影響を織り込み
- ▶ 主に日米における、第2四半期でのハードの下振れを織り込み
- ▶ 消耗品の堅調トレンドを反映

※当期における連結範囲の変更に合わせて、前期まで「日本」で表示していた数値の一部を、「アジア他」へ組み替えて表示しております。

パーソナル&ホーム事業 売上高・営業利益 <2015年3月期 通期予想>



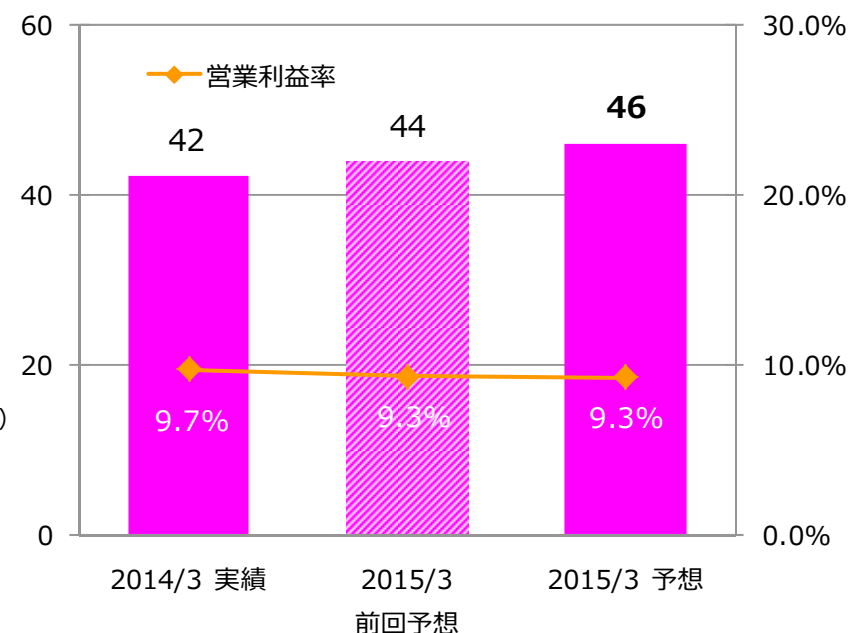
売上高 (億円)



対前年増減率 (為替影響除く)

家庭用ミシン
+14.8% (+11.5%)

営業利益 (億円)



家庭用ミシン 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 前回予想	2015/3 予想	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	229	251	276	+20.5% (+16.0%)
欧州	107	110	110	+3.0% (+0.3%)
アジア他	46	59	58	+24.9% (+22.6%)
日本	51	53	53	+4.9% (+4.9%)

前回からの変更点

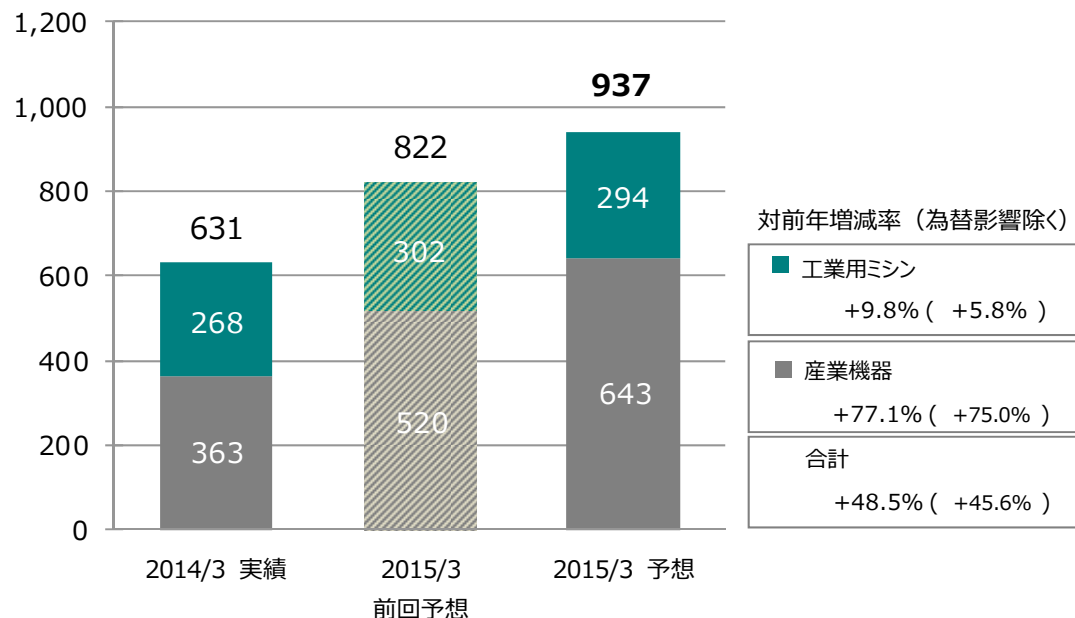
- ドル円の前提レートを円安に変更した影響を織り込み
- 需要が好調な米州の見通しを引き上げ

※当期における連結範囲の変更に合わせて、前期まで「日本」で表示していた数値の一部を、「アジア他」へ組み替えて表示しております。

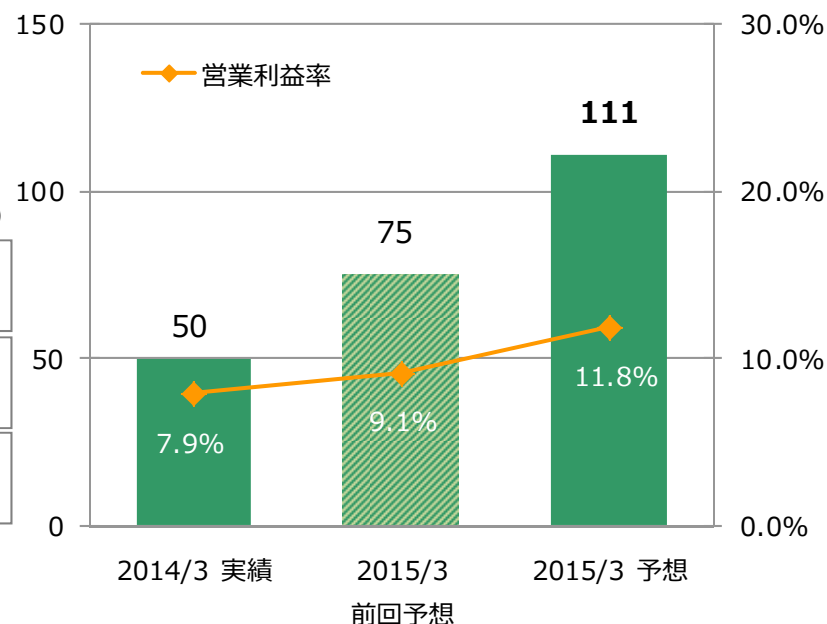
マシナリー&ソリューション事業 売上高・営業利益 <2015年3月期 通期予想>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



工業用マシン 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 前回予想	2015/3 予想	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	45	45	49	+9.1% (+5.1%)
欧州	38	45	43	+13.8% (+10.5%)
アジア他	178	207	196	+9.9% (+5.6%)
日本	7	5	6	△11.0% (△11.0%)

産業機器 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 前回予想	2015/3 予想	対前年増減率
米州	21	28	27	+24.8%
欧州	16	23	23	+49.5%
アジア他	282	416	536	+90.1%
日本	44	52	57	+29.3%

前回からの変更点

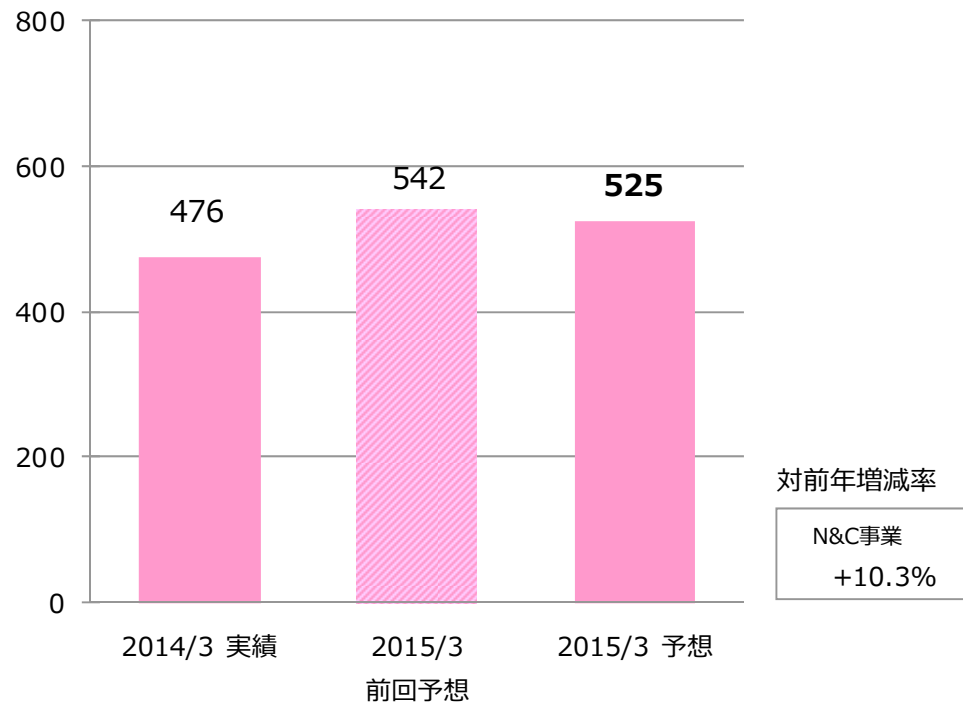
- 工業用マシンは、需要が低迷している中国向けの見通しを引き下げ
- 産業機器は、IT関連顧客からの需要拡大に伴い、見通しを引き上げ
- 産業機器の引き上げに伴い、利益見通しも引き上げ

※産業機器については、主に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

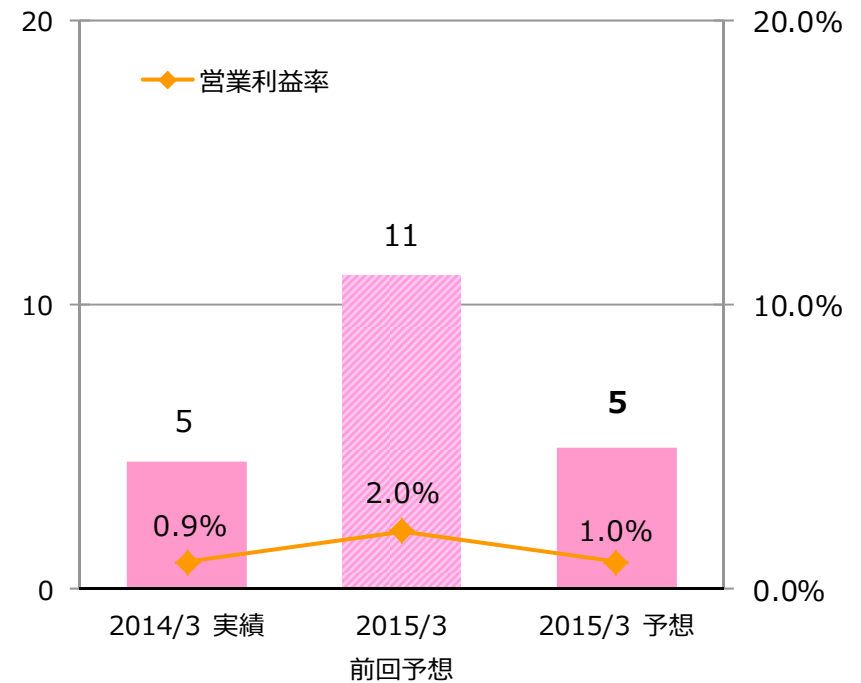
ネットワーク&コンテンツ事業 売上高・営業利益 <2015年3月期 通期予想>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



前回からの変更点

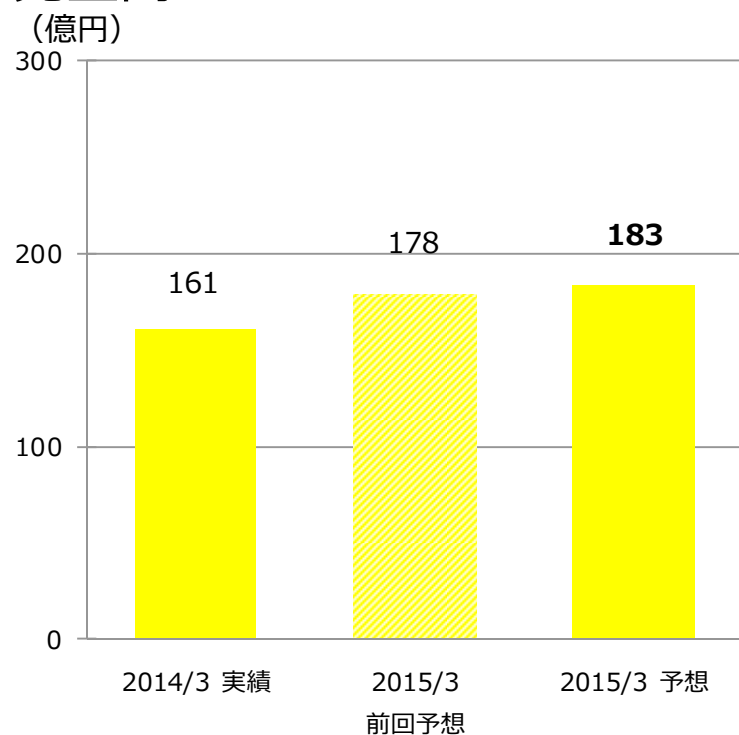
- カラオケ事業の見通しは維持
- 新規事業及びコンテンツ事業の見通しを引き下げ

※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

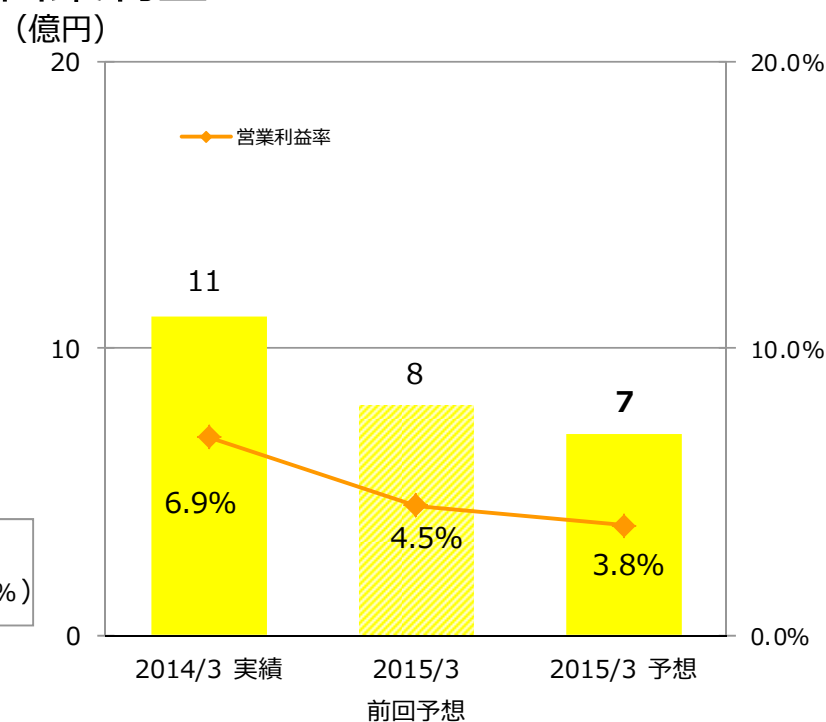
工業用部品事業 売上高・営業利益 <2015年3月期 通期予想>



売上高



営業利益



対前年増減率
工業用部品
+13.7% (+13.0%)

工業用部品 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 前回予想	2015/3 予想	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	20	28	29	+43.0% (+37.6%)
欧州	0	0	0	- (-)
アジア他	0	5	5	- (-)
日本	141	145	149	+5.9% (+5.9%)

前回からの変更点

- 需要が堅調な日本の見通しを引き上げ

2015年3月期 第2四半期(7-9月期)決算実績



単位：億円

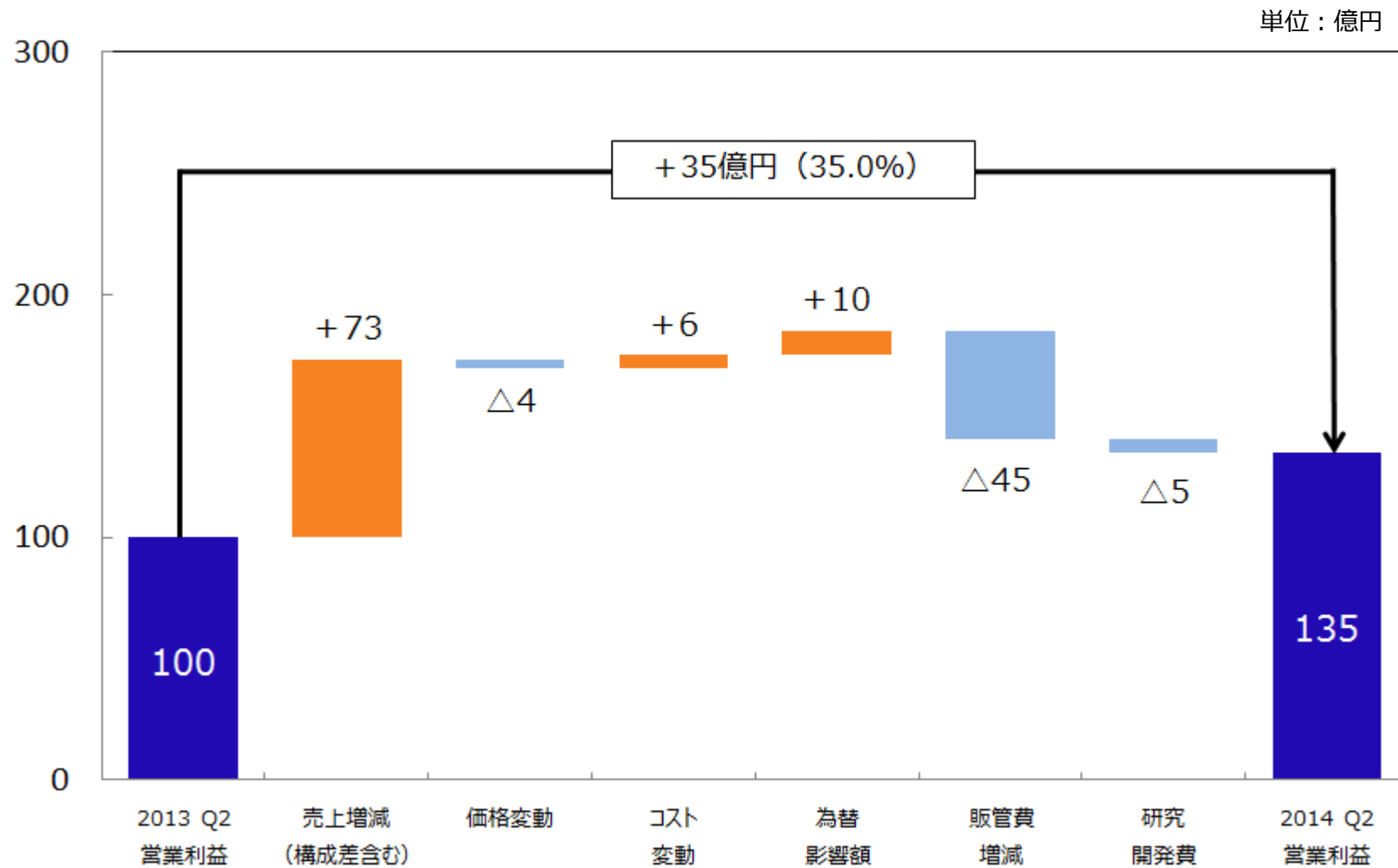
	第2四半期 3ヶ月間			
	2015/3 2Q (3ヶ月実績)	2014/3 2Q (3ヶ月実績)	増減額	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率
売上高	1,642	1,490	152	10.2% (5.8%)
営業利益	135	100	35	35.0%
営業利益率	8.2%	6.7%	1.5%	
営業外損益	△7	△5	△1	
経常利益	128	94	34	35.7%
特別損益	△2	△3	2	
法人税他	49	40	9	
四半期純利益	77	51	26	51.7%

単位：円

換算レート	USD	104.35	98.20	6.15
	EUR	137.94	130.17	7.77

- ✓ 売上高は、産業機器が好調に推移したことに加え、為替の円安効果もあり、二桁の増収となる
- ✓ 営業利益は、増収効果に加え、為替の円安効果も加わり、増益となる

営業利益増減要因 <2015年3月期 第2四半期実績>

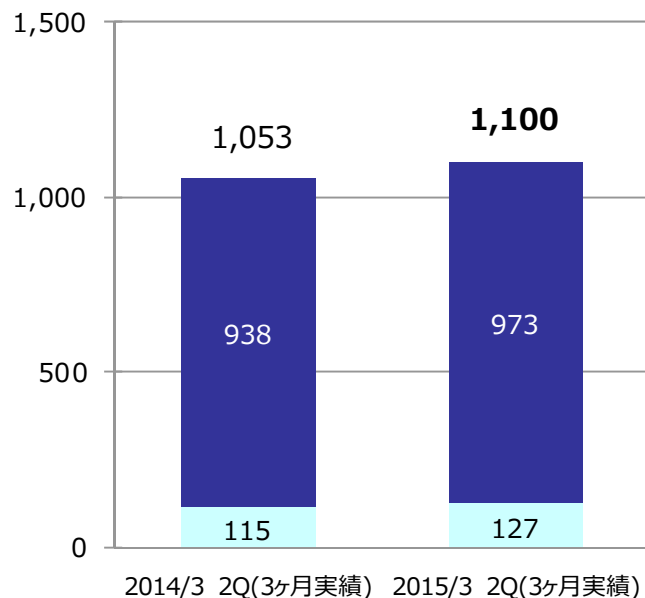


「プリンティング & ソリューションズ」事業

売上高・営業利益 <2015年3月期 2Q(7-9月実績)>



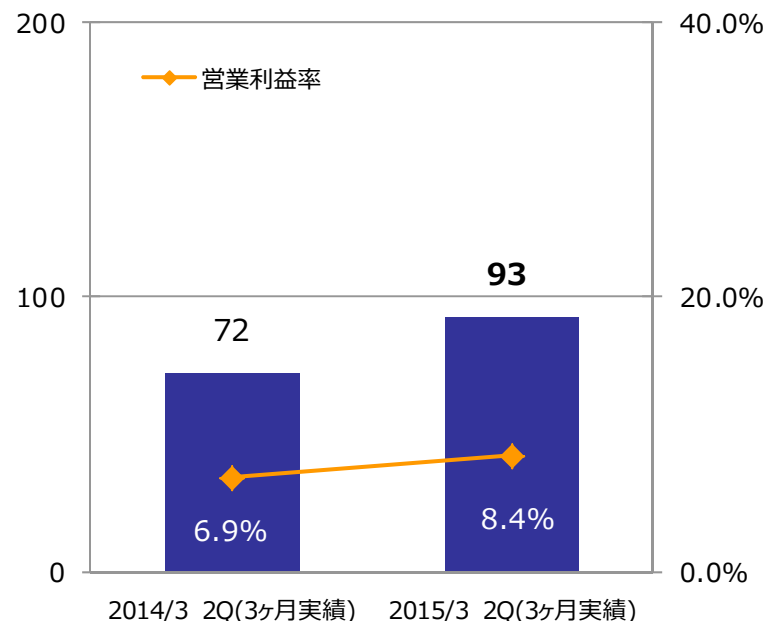
売上高 (億円)



増減率 (為替影響除く)

通信・プリンティング機器	+3.8% (△1.3%)
電子文具	+10.4% (+4.6%)
合計	+4.5% (△0.6%)

営業利益 (億円)



通信・プリンティング機器 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 2Q(3ヶ月実績)	2015/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	383	390	+1.9% (△2.8%)
欧州	295	319	+8.3% (+1.3%)
アジア他	153	166	+8.9% (+3.4%)
日本	108	97	△9.5% (△9.5%)

電子文具 地域別売上高内訳 (億円)

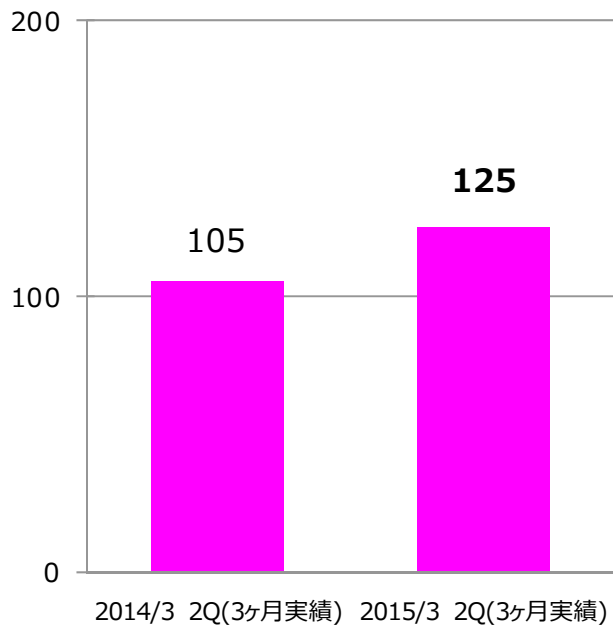
	2014/3 2Q(3ヶ月実績)	2015/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	55	62	+12.6% (+6.8%)
欧州	34	38	+11.7% (+4.2%)
アジア他	15	19	+25.1% (+19.1%)
日本	11	8	△25.7% (△25.7%)

- 新製品の出荷遅れの影響などにより、日米を中心にハードが減収に
- 営業利益は、消耗品の増収および為替のプラス影響により、増益となる

※当期における連結範囲の変更に合わせて、前期まで「日本」で表示していた数値の一部を、「アジア他」へ組み替えて表示しております。

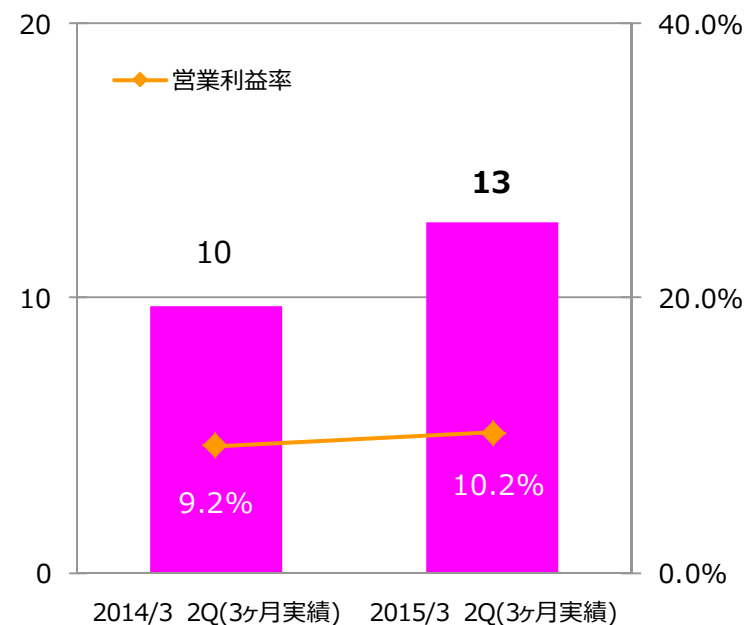
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



増減率 (為替影響除く)

家庭用ミシン
+18.7% (+13.3%)

家庭用ミシン

地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 2Q(3ヶ月実績)	2015/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	59	75	+26.9% (+20.6%)
欧州	25	24	△3.2% (△8.6%)
アジア他	11	15	+32.9% (+27.4%)
日本	10	11	+9.3% (+9.3%)

- 売上高は、米州の売上が堅調に推移し、増収となる
- 営業利益は、増収及び為替の円安効果などにより、増益となる

※当期における連結範囲の変更に合わせて、前期まで「日本」で表示していた数値の一部を、「アジア他」へ組み替えて表示しております。

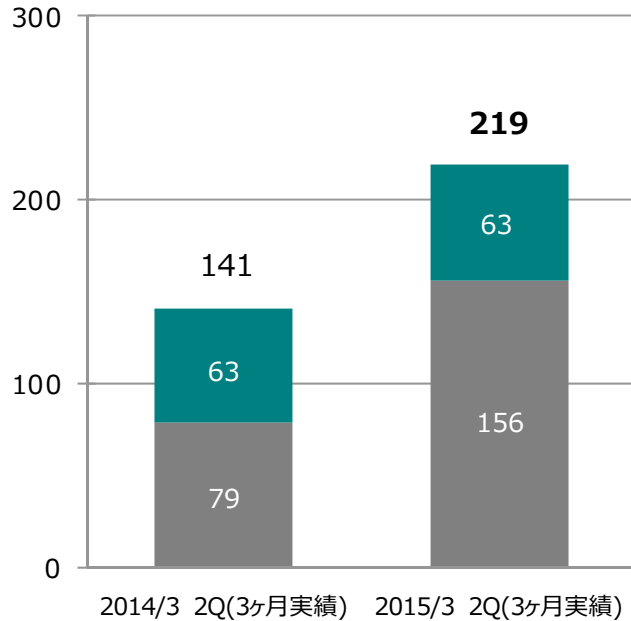
マシナリ&ソリューション事業

売上高・営業利益 <2015年3月期 2Q(7-9月実績)>



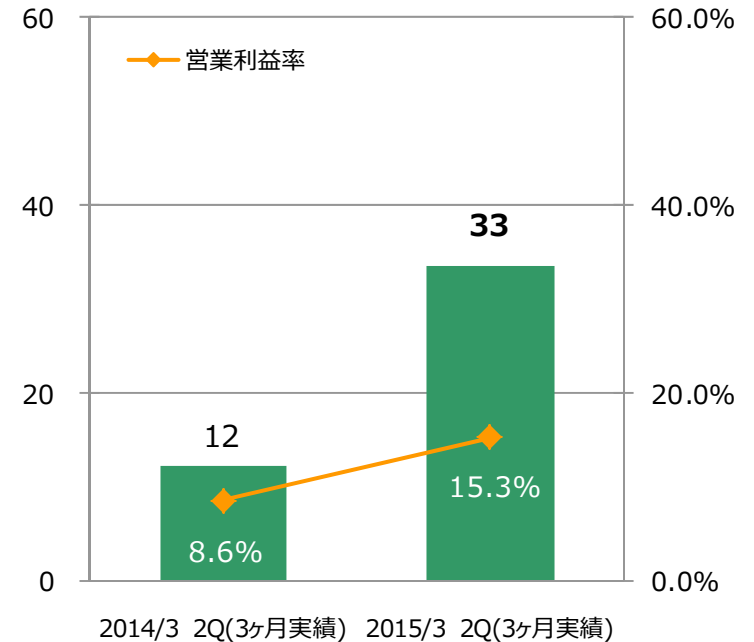
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



増減率 (為替影響除く)

工業用マシン	+0.8% (△4.6%)
産業機器	+98.3% (+95.1%)
合計	+55.0% (+50.8%)

工業用マシン

地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 2Q(3ヶ月実績)	2015/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	11	13	+19.3% (+13.0%)
欧州	9	10	+15.5% (+9.0%)
アジア他	41	38	△7.8% (△13.0%)
日本	2	2	+12.5% (+12.5%)

産業機器

地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 2Q(3ヶ月実績)	2015/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率
米州	5	6	+28.5%
欧州	3	7	+127.2%
アジア他	60	129	+115.4%
日本	11	13	+24.6%

- 工業用マシンは、東南アジア及び欧米の縫製産業における需要の拡大はあるものの、中国の需要低迷の影響により、実質減収となる
- 産業機器は、中国におけるIT関連顧客の需要拡大に伴い、第1四半期から好調が続く
- 主に産業機器の増収に伴い、大幅な増益となる

※産業機器については、主に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

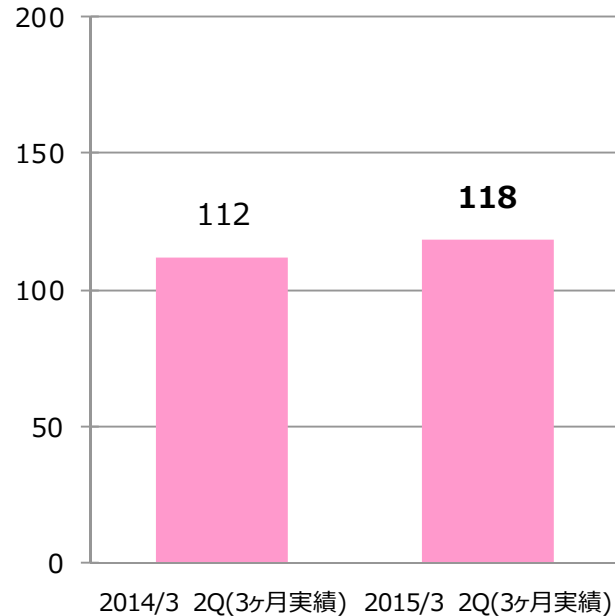
ネットワーク&コンテンツ事業

売上高・営業利益 <2015年3月期 2Q(7-9月実績)>



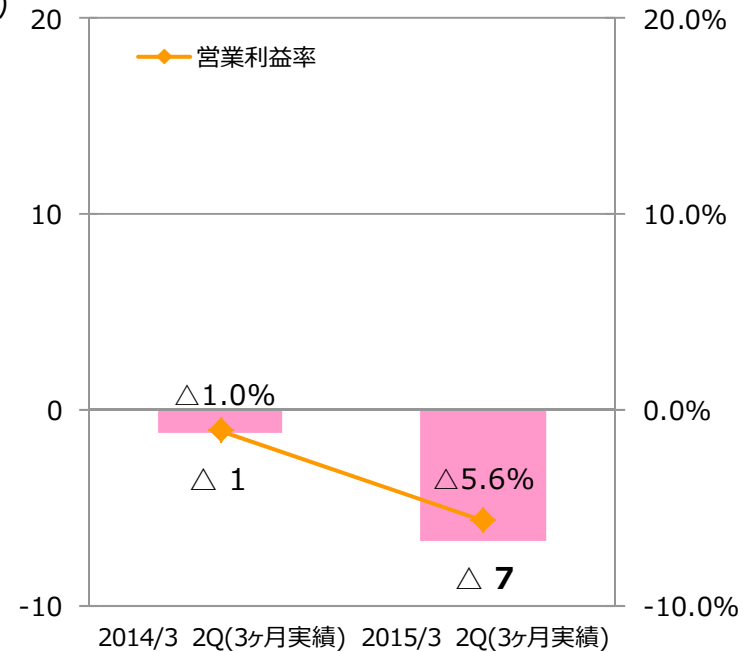
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



増減率

N&C事業
+5.8%

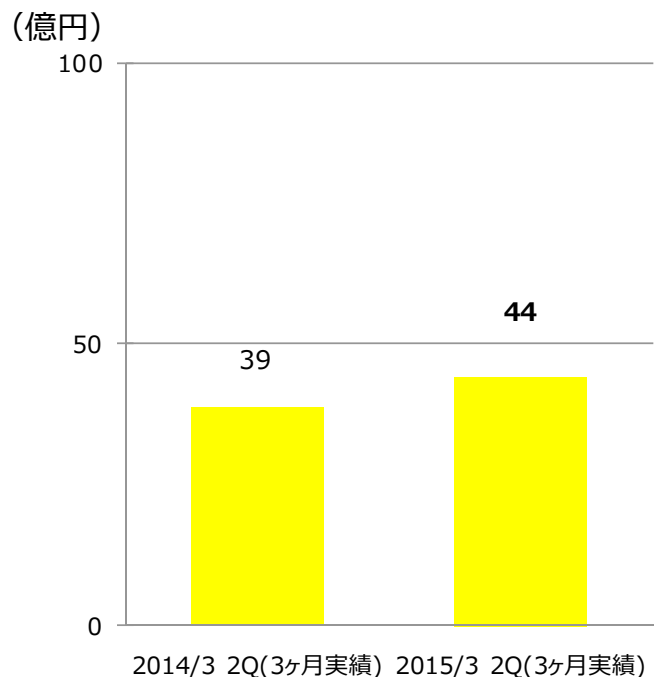
- 売上高は、カラオケ店舗の運営事業は堅調なもの、通信カラオケ機器の需要サイクルの影響もあり、小幅増収となる
- 営業利益は、機器販売の減小に加え、開発費などの費用の増加の影響もあり、赤字が拡大

※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

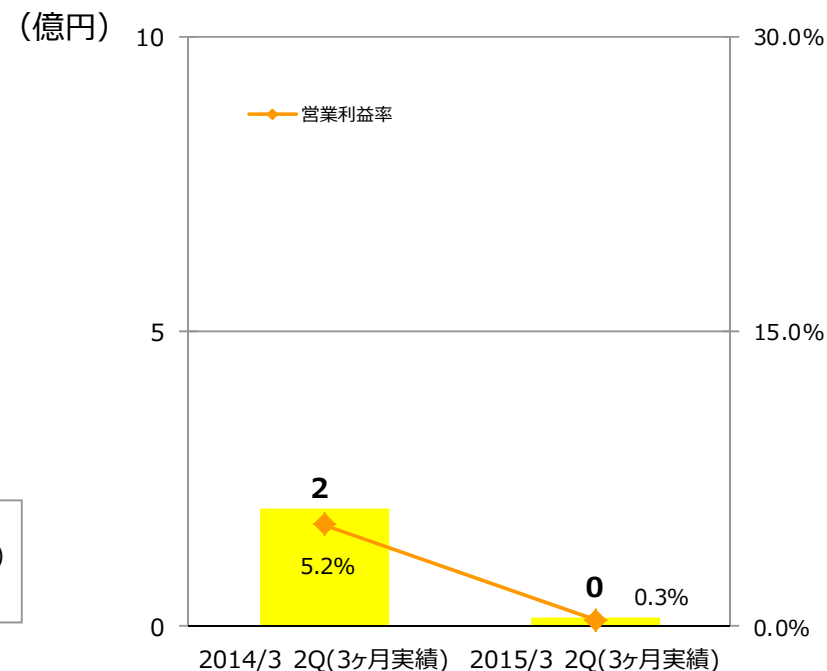
工業用部品事業 売上高・営業利益 <2015年3月期 2Q(7-9月実績)>



売上高



営業利益



対前年増減率
+13.9% (+13.1%)

工業用部品 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 2Q(3ヶ月実績)	2015/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	5	5	+7.2% (+1.0%)
欧州	0	0	- (-)
アジア他	0	1	- (-)
日本	34	38	+11.5% (+11.5%)

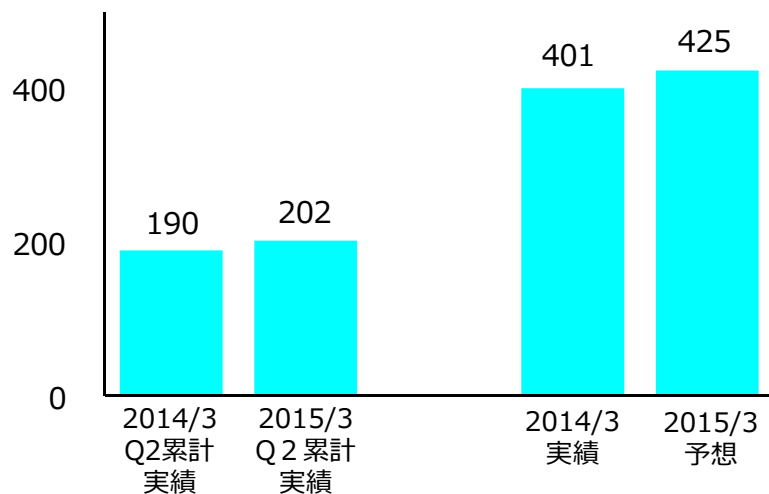
- 売上高は、日本での需要が堅調なことに加え、北米での販売強化もあり、順調に拡大
- 償却費などの固定費増により、減益となる

研究開発費・設備投資・減価償却費・棚卸資産



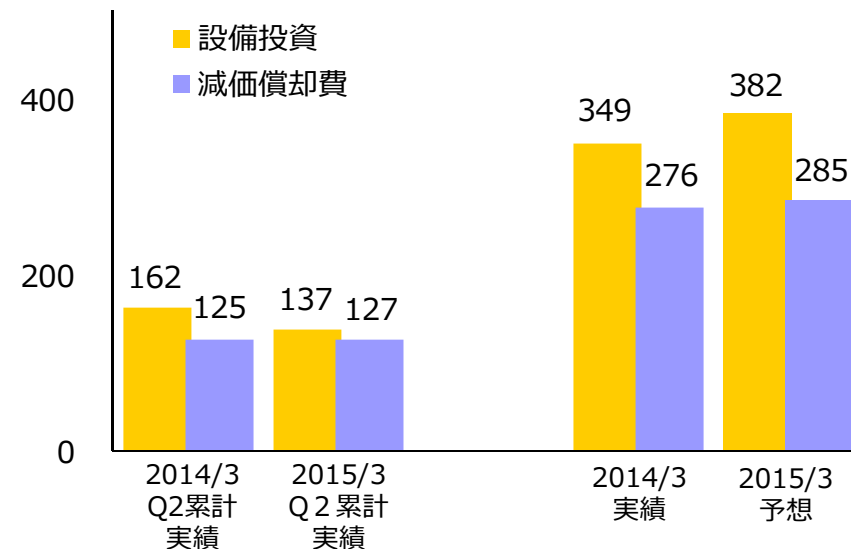
研究開発費

(億円)



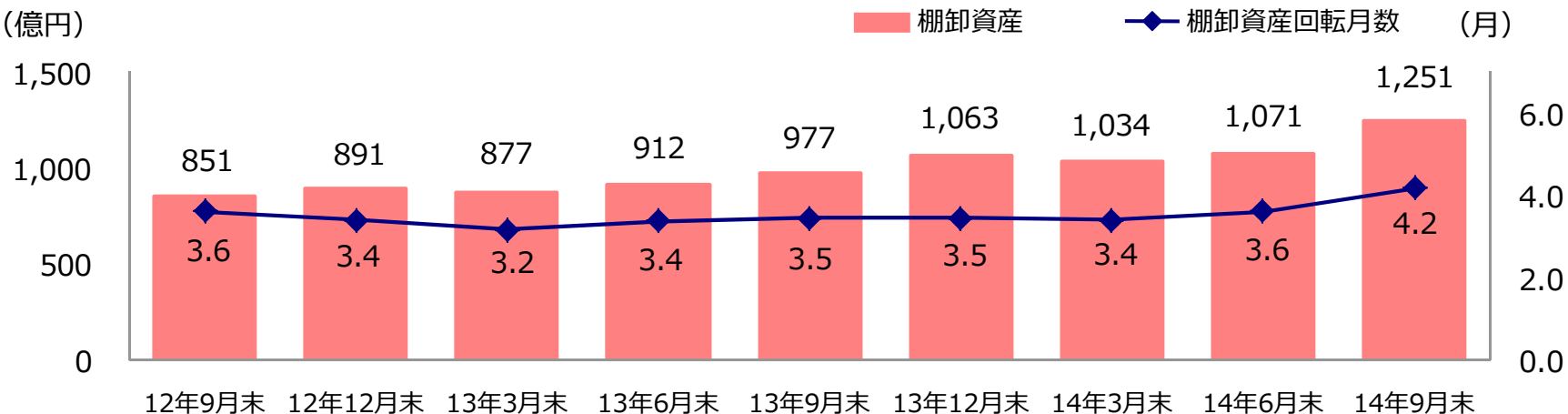
設備投資・減価償却費

(億円)



棚卸資産

(億円)



※棚卸資産回転月数 = 棚卸資産 ÷ (1ヶ月平均売上原価)

brother
at your side